

# 道路事業 事後評価

## 一般国道45号 かみきたてんまばやし 上北天間林道路

令和6年2月21日  
国土交通省 東北地方整備局

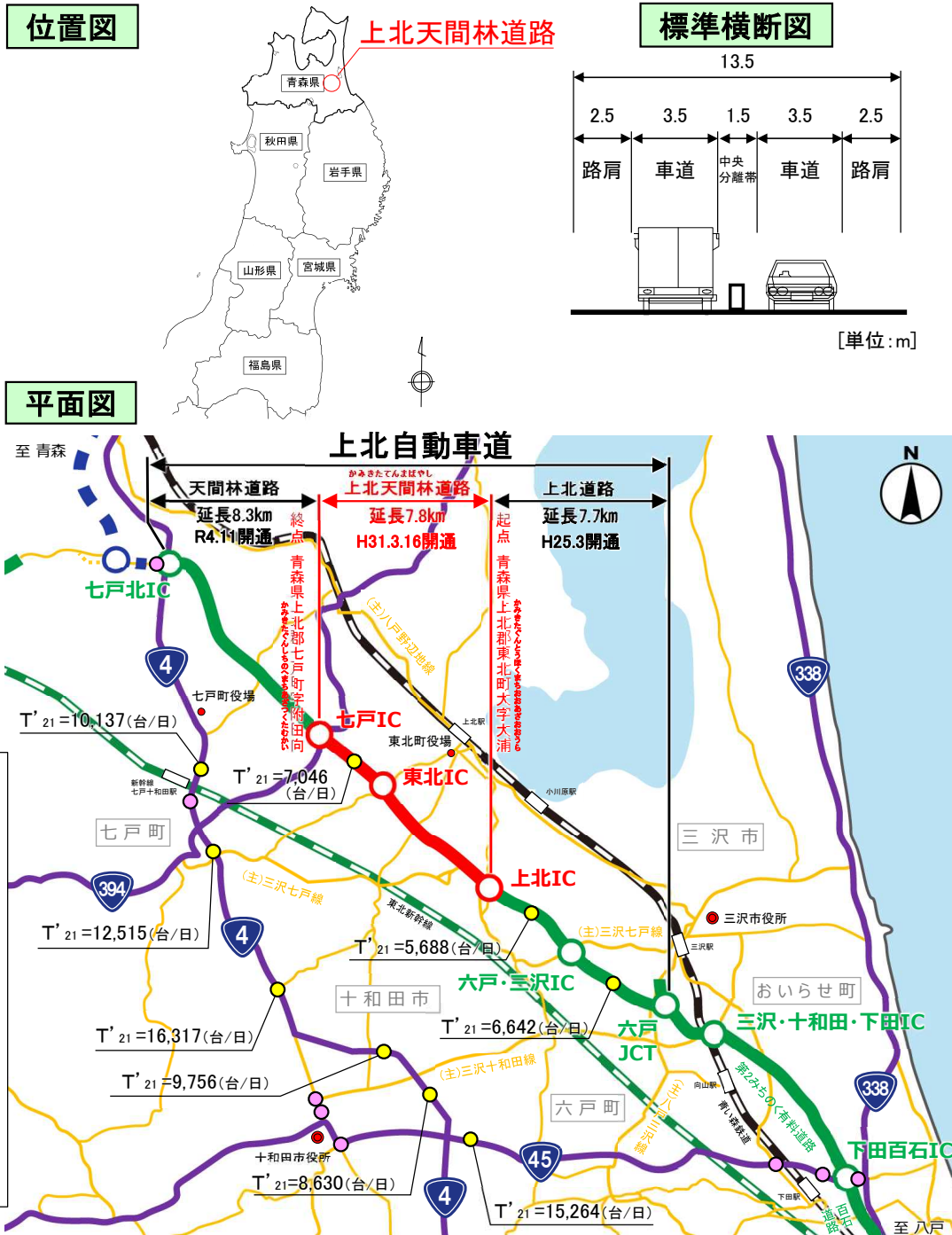
# 1. 事業の目的と概要(1)

## ○事業目的

- ・ 上北天間林道路は、上北道路、天間林道路と一体となって高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路
- ・ 事故減少
- ・ 救急医療支援
- ・ 地域産業支援・物流支援
- ・ 観光・地域交流支援
- ・ 企業立地支援
- ・ 日常生活利便性向上

## ○計画概要

- 起終点 : 自 : 青森県上北郡東北町大字大浦  
 : 至 : 青森県上北郡七戸町字附田向
- 延長 : 7.8 km  
 幅員 : 13.5 m  
 道路規格 : 第1種第3級  
 設計速度 : 80 km/h  
 計画交通量 : 19,700台/日  
 都市計画決定 : 平成16年度  
 事業化 : 平成20年度  
 用地着手 : 平成22年度  
 工事着手 : 平成23年度  
 開通 : 平成30年度 (H31.3.16)

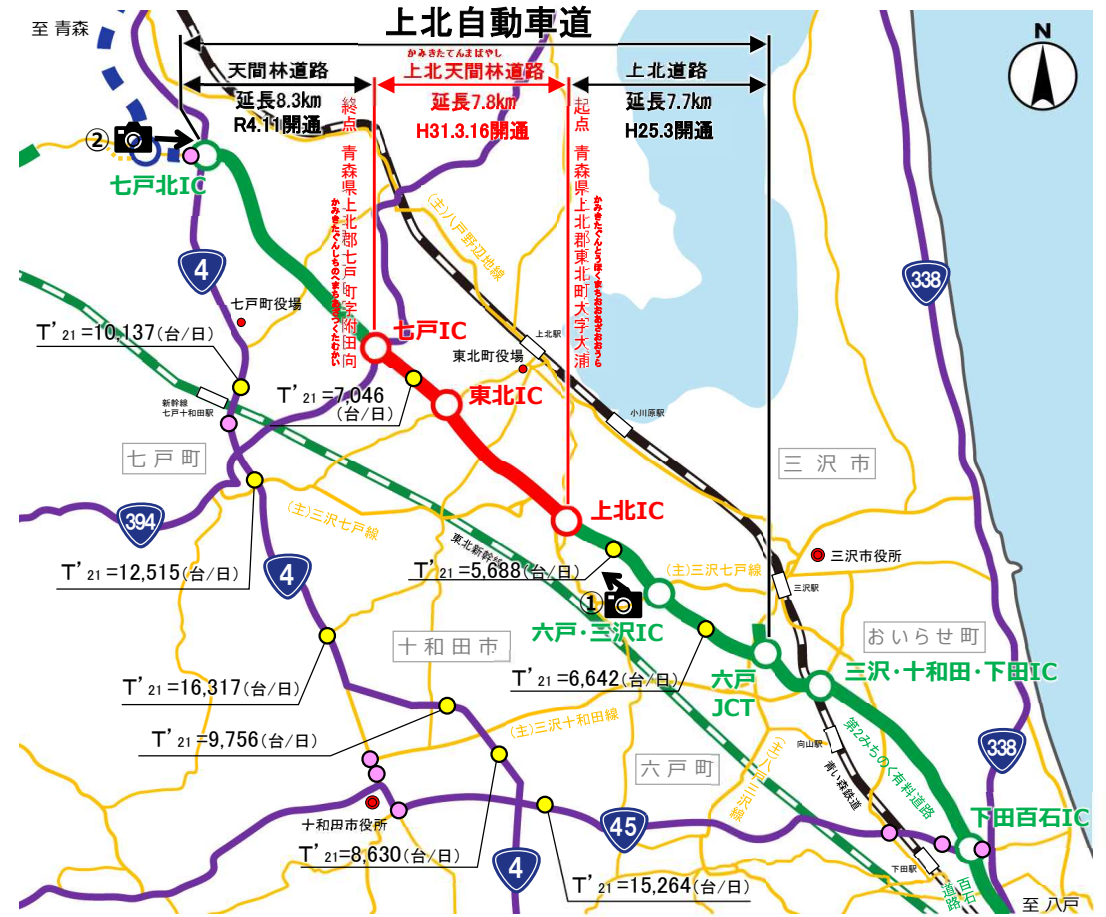


# 1. 事業の目的と概要(2) 整備状況

写真① 六戸・三沢ICから上北IC方向【R5.10】



写真② 七戸北IC交差点から上北自動車道方向【R5.10】



凡例	その他道路凡例	車線数	その他凡例
— : 開通済	道路種別	== : 4車線	● : 市役所
..... : 事業中	— : 評価対象区間	== : 2車線	● : 役場
□□□□ : 未事業化	— : 高規格幹線道路		● : R3センサス交通量
	— : 地域高規格道路		○ : 主要渋滞箇所
	— : 一般国道		
	— : 主要地方道・県道		

# 1. 事業の目的と概要(3) 関連記事

## 上北天間林道路が開通



### 物流効率化に期待

八戸、青森両市を結ぶ高速ネットワークの一部として、国直轄で整備中の上北自動車道(23.8km)のうち、東北町と七戸町をつなぐ上北天間林道路(7.8km)が16日開通し、同日午後4時に供用が始まった。通行無料。物流効率化や両町からの救急搬送の時間短縮などが期待される。

青森河川国道事務所によると、上北天間林道路は2008年度に事業着手し、総事業費は約26.9億円。開通に伴い、自動車での八戸市庁―青森市役所間の所

要時間は約6分短縮される。この日は、東北町大浦の上北インターチェンジ(IC)付近で記念式典が開かれ、出席した約200人が開通を祝った。

式典では、三村申吾青森県知事があいさつに立ち、11年の東日本大震災後の物



資運送での苦勞を踏まえ、「道のネットワークが命を守る。青森と八戸の港をつなぎ、観光の拡大も期待できる」と完成の意義を強調。

地元の蛸名鉱治東北町長、小又勉七戸町長は、共に「高度医療施設のある八戸市への患者搬送時間の大幅な短縮につながる」と期待を寄せた。

その後、テープカットのほか、出席者らの車両によるパレードが行われた。

上北自動車道は、3区間のうち上北道路(六戸町―東北町、7.7km)と上北天間林道路が完成。

残る1区間の天間林道路(七戸町、8.3km)は12年度に事業着手し、総事業費は約26.0億円。現在、盛り土や橋の工事が行われている。開通時期は未定。

(林泰輔)

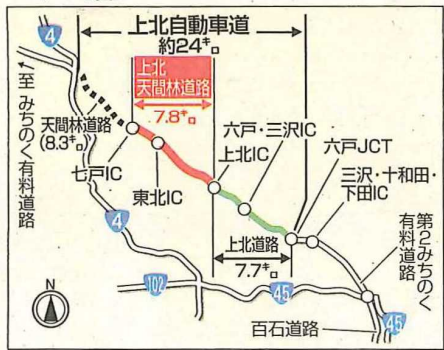
## 待望の開通 走り初め



一般車両への開放に先立ち、上北天間林道路で走り初めを行う関係者。16日午後、東北町大浦

### 「上北天間林」アクセス向上

八戸市と青森市を結ぶ、高規格道路として国土交通省が整備している上北自動車



一般開放に先立ち、東北町大浦の上北IC(インターチェンジ)近くで開通式が開かれ、国や地元関係者ら約200人が参加した。

三村申吾知事や大島理森衆院議長、江渡聡徳衆院議員、滝沢求参院議員、地元の蛸名鉱治東北町長、小又勉七戸町長らがあいさつ。テープカットや車両パレードで延伸を祝った。

午後4時の開通後には、一般車両が上北IC、東北IC、七戸ICから上北天間林道路に次々進入し「走り初め」を行った。

今回の開通で上北自動車道は総延長約

道の「上北天間林道路」(東北町大浦―七戸町附田向、7.8km)が16日開通した。2013年に開通済みの「上北道路」と接続し、六戸町と七戸町が直結。上北自動車道は第2区間の有料道路に通じ、物流効率化や観光客の利便性、救急医療施設へのアクセス向上などの効果が期待される。

24kmの64%に当たる15.5kmの整備が完了した。みちのく有料道路につながる残る第3区間天間林道路(七戸町附田向―同町後平、8.3km)の開通時期は未定。

(坂本延晴)

資料：東奥日報 (H31. 3. 17付)

※この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

資料：デーリー東北 (H31. 3. 19付)

## 2. 前回評価時からの周辺環境等の変化

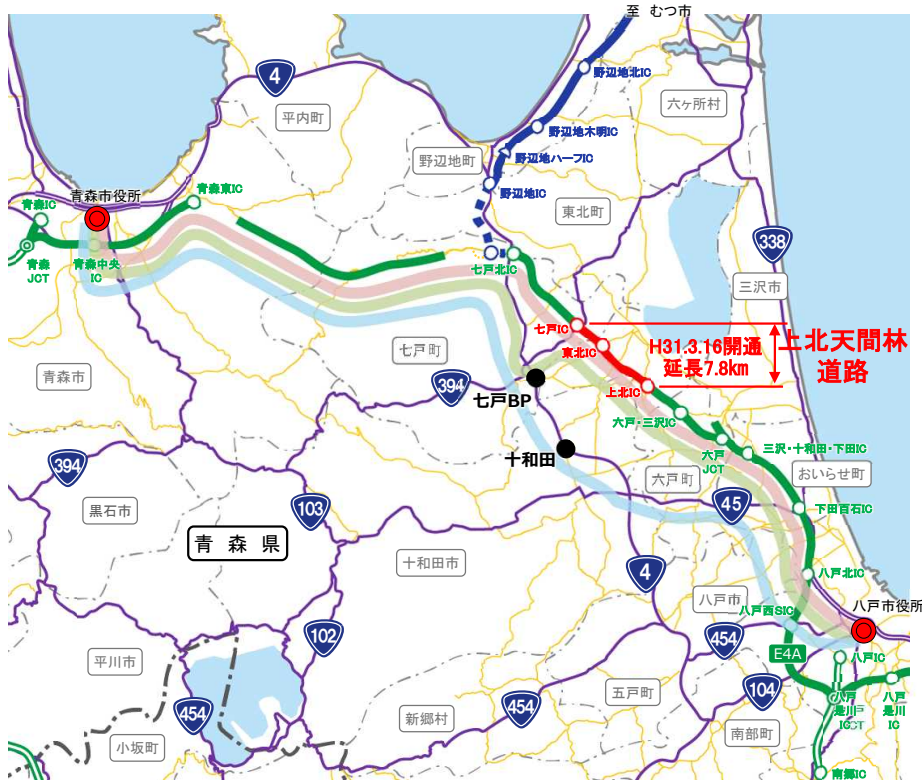
事業完了後5年経過

- ◆三陸沿岸道路が令和3年12月に全線開通、天間林道路が令和4年11月に開通。
- ◆一般国道4号（下北半島縦貫道路）野辺地七戸道路と一般県道後平青森線 後平バイパスが令和4年度に新規事業化。



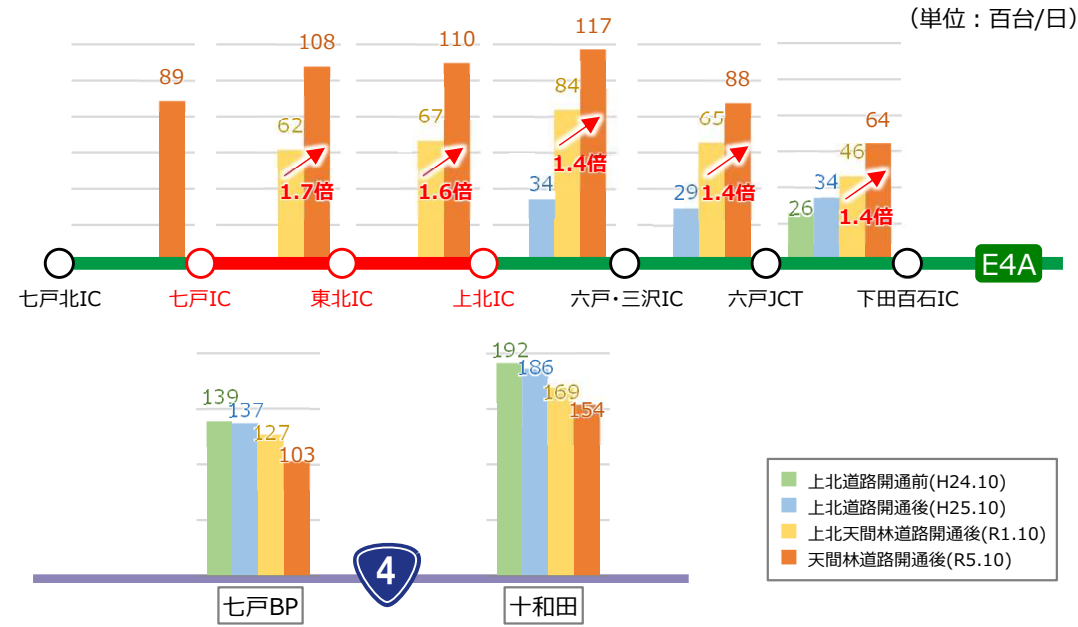
### 3. 交通状況の変化等(1)交通量・所要時間

- ◆上北自動車道の延伸に伴い、交通量が増加。並行区間の国道4号の交通量は減少。
- ◆また、全線開通前後で青森～八戸間の所要時間が約30分減少。



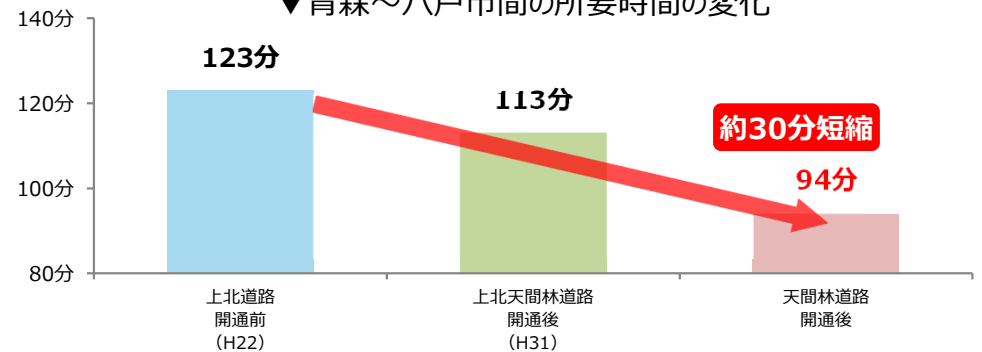
凡例		その他道路凡例	
—	: 開通済	—	: 評価対象区間
.....	: 事業中	—	: 高規格幹線道路
□□□□	: 未事業化	—	: 地域高規格道路
		—	: 一般国道
		—	: 主要地方道・県道
		—	: 車線数
		—	: 4車線
		—	: 2車線

▼上北自動車道及び周辺道路の交通状況



出典：上北自動車道・国道4号…トラフィックカウンター観測データ  
 みちのく有料道路・第二みちのく有料道路…青森県道路公社データ  
 ※R5.10の上北道路・天間林道路・国道7号は交通量調査  
 ※H24～R1.10は月平均、R5.10はR5.10.8(日)、11(水)、12(木)、15(日)平均

▼青森～八戸市間の所要時間の変化





出典：上北道路開通前：H22道路交通センサス 12時間平均旅行速度  
 上北天間林道路開通後：R3全国道路・街路交通情勢調査 12時間平均旅行速度  
 天間林道路開通後：ETC2.0データ (R5.5 平日 12時間平均旅行速度)

# 4. 事業効果の発現状況(1) 事故減少

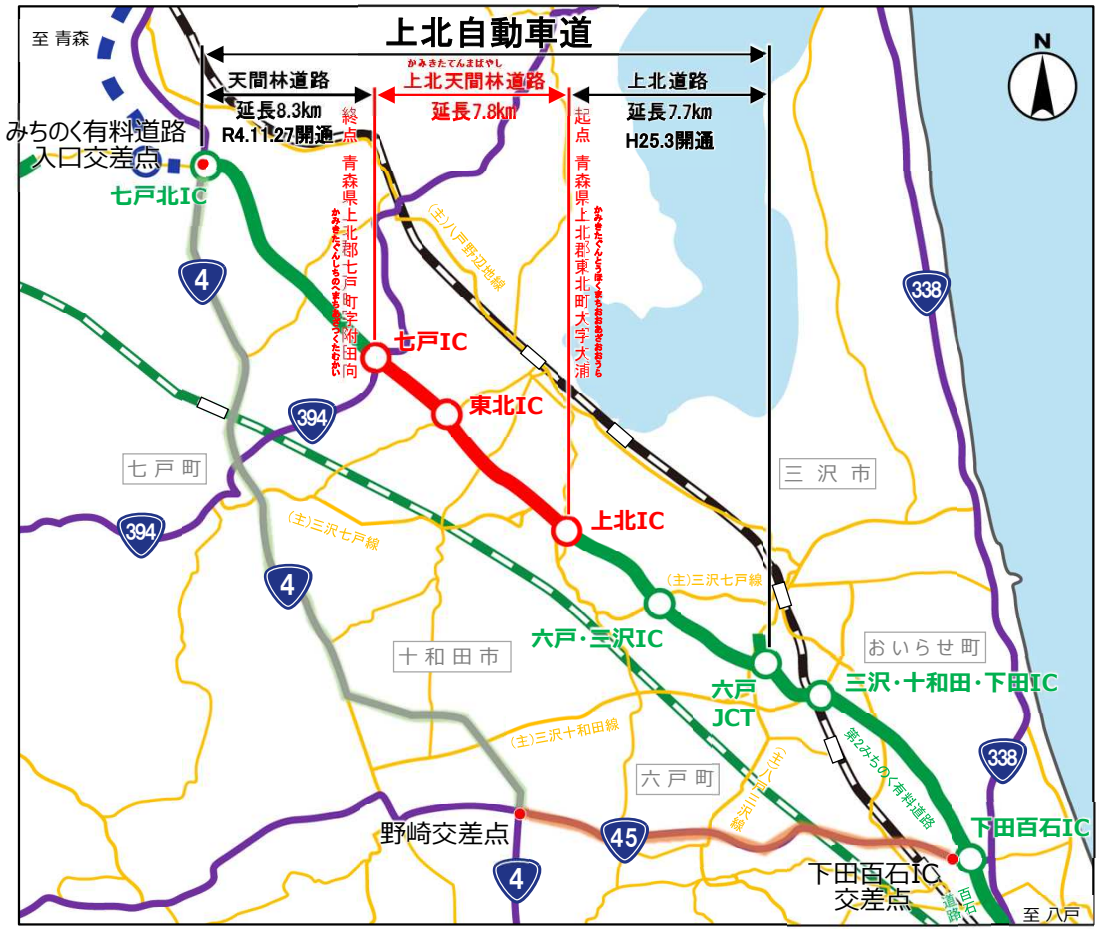
関連性の高い3便益  
: 交通事故減少便益

事業完了後5年経過

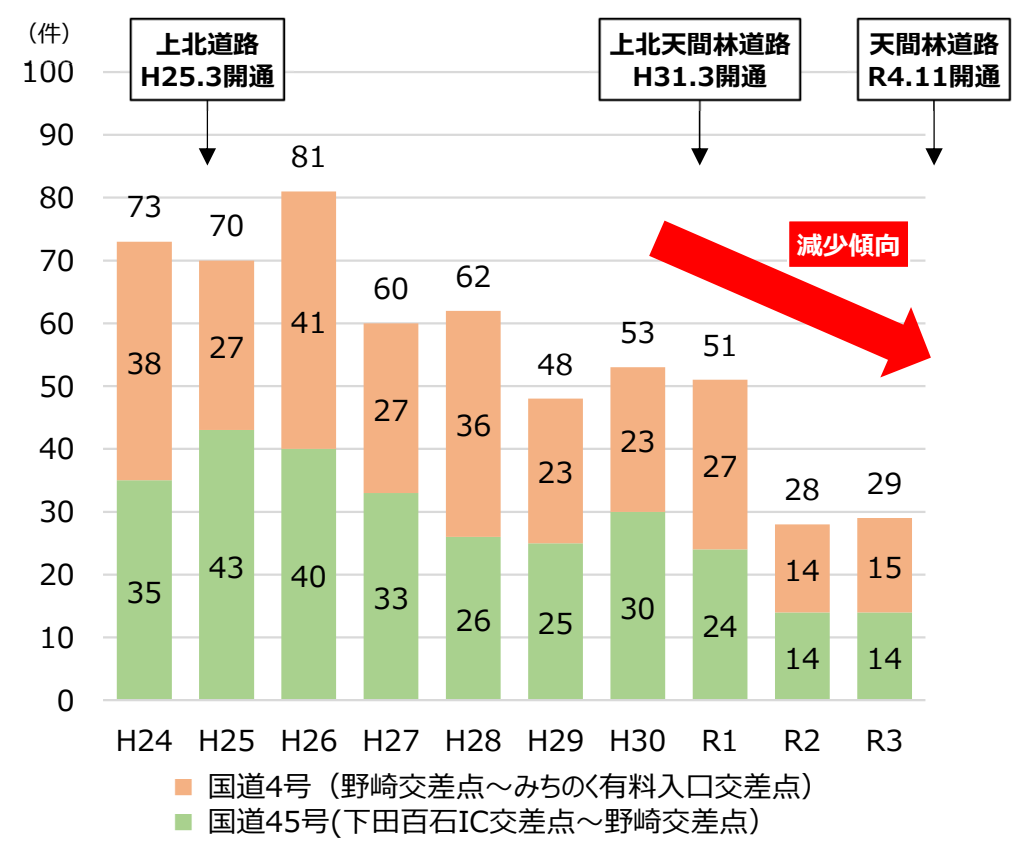
関連SDGs

◆ 上北自動車道の延伸とともに、並行する国道45号、国道4号の事故は減少。



▼ 上北自動車道平行区間（国道4号・国道45号）の死傷事故件数の推移



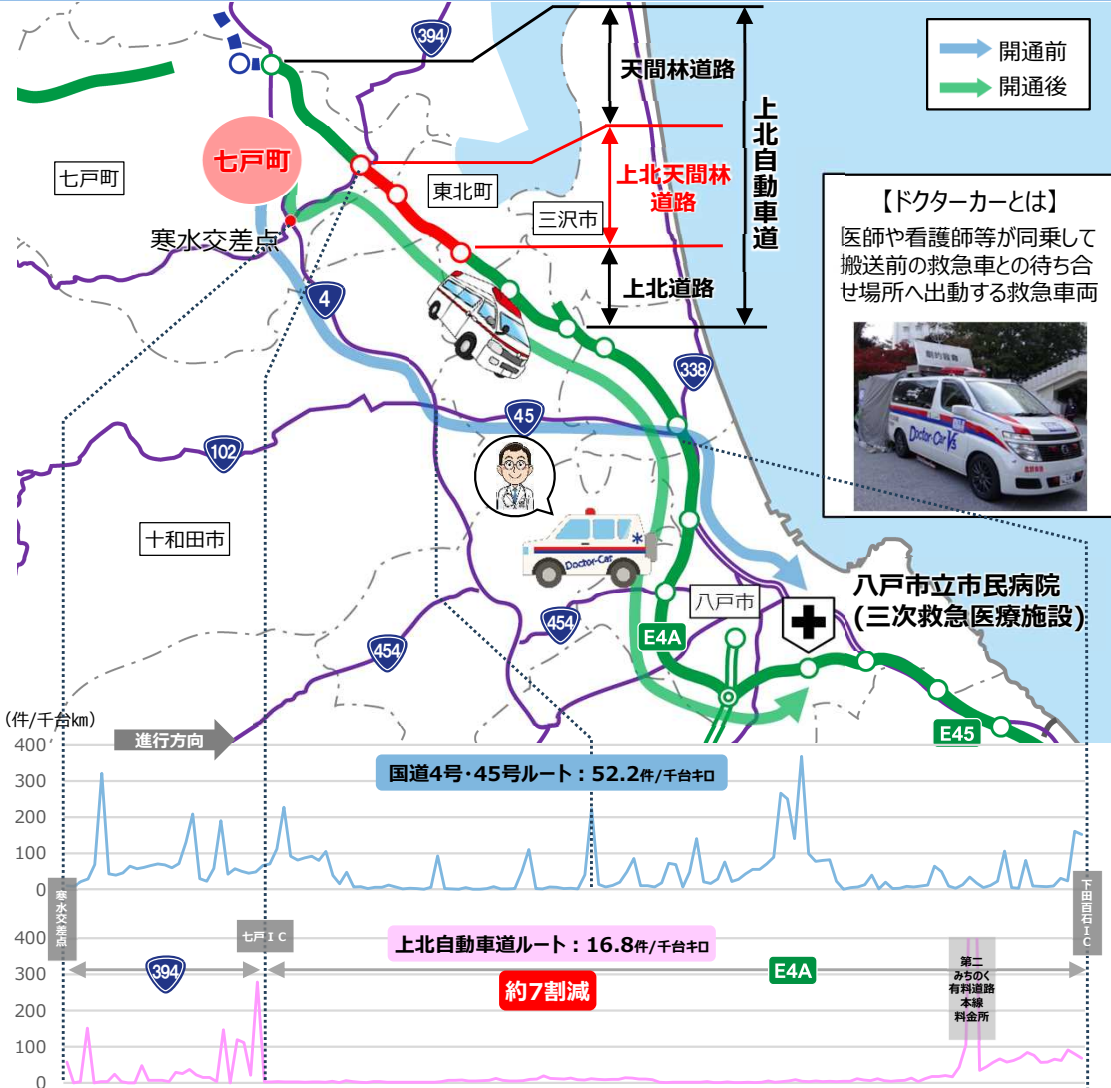
出典：イタルデータ

# 4. 事業効果の発現状況(2) 救急医療支援

事業完了後5年経過

関連SDGs

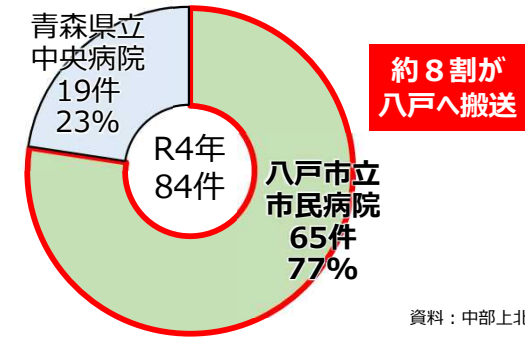
- ◆東北町、七戸町から三次救急医療施設への搬送は、約8割が八戸市立市民病院へ搬送。
- ◆上北天間林道路開通後、七戸町から八戸市市民病院までの所要時間は全線開通前に比べ約15分短縮されたほか、急挙動の発生頻度は減少。
- ◆上北自動車道の開通により、救急搬送の速達性、安定性が向上し、地域の救急医療活動を支援。



▲上北天間林道路の開通前後経路における急ブレーキ発生頻度

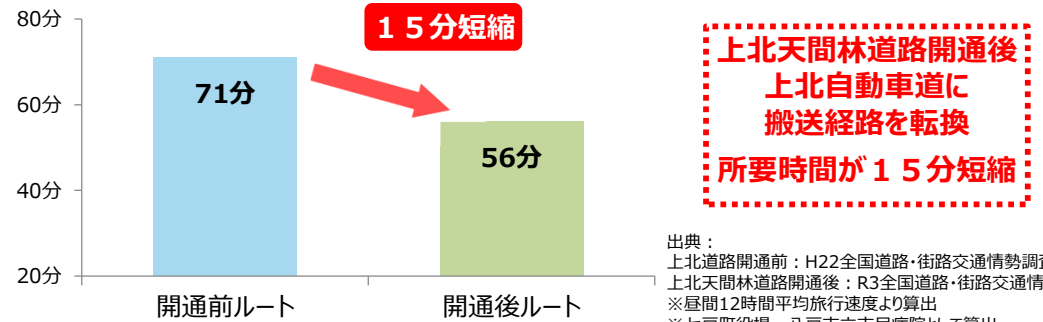
出典：ETC2.0データ（R5.5データ）  
200m毎の急挙動発生頻度を0.25G以上を対象に集計  
※寒水交差点～下田白石IC間で比較

## ▼東北町・七戸町から三次救急医療施設への搬送件数



資料：中部上北広域事業組合消防本部

## ▼上北天間林道路の開通前後の所要時間の変化（七戸町から八戸市立市民病院）



出典：  
上北道路開通前：H22全国道路・街路交通情勢調査  
上北天間林道路開通後：R3全国道路・街路交通情勢調査  
※昼間12時間平均旅行速度より算出  
※七戸町役場～八戸市立市民病院として算出

### 【中部上北広域事業組合消防本部の声】

- 上北天間林道路の開通後は救急搬送時のルートを上北自動車道に変更し、八戸方面への搬送時間の短縮、重症傷病者が安んじた状態での走行ができるようになり、大変有効だ。搬送時間の短縮は早期医療介入に十分寄与している。
  - 現場から八戸市市民病院への搬送時はもちろんのこと、病院からの帰署時のアクセス性も向上しているほか、ICがバランスよく配置されており、利便性も高まっている。
- (R5.10 ヒアリング結果)

### 【八戸市立市民病院の声】

- 救急車とドクターカーの接触までの時間が短縮されることで、特に心疾患や脳疾患、重症外傷への早期治療が可能となり救命率の向上につながる。
- (R5.10 ヒアリング結果)

# 4. 事業効果の発現状況(3) 地域産業支援・物流支援

事業完了後5年経過

関連SDGs



- ◆青森県では、H27.4より新たな流通サービスとして『A!Premium』の輸送サービスを開始。国内向けは3年連続過去最多を更新し、R4年度は『A!Premium』をきっかけとした取引を含めると過去最多を更新。R4.8からは青森空港を利用した海外向け輸送が開始。
- ◆上北自動車道の開通による輸送時間短縮や安定走行により、配送遅延や荷痛みの回避など輸送安定化に寄与。

## 『A!Premium』のサービス

- ★航空機を使用したスピード配送で、翌日午前中配達エリアを大幅に拡大
- ★鮮度、品質を維持した「保冷一貫輸送」で、西日本への販路構築を支援
- ★アジア圏への最短翌日配送（香港、台湾→翌日中、シンガポール、タイ→翌々日）

### 現在のA!Premium

- ・R4.8から青森空港を活用した海外輸送を開始
- ・締切時間が緩和することで、利用者の拡大に期待
- ・県内全域から当日中の集荷が可能に
- ・今後青森空港の国際線が再開されれば直行便での輸送も可能に

**ASIA**  
香港・台湾・シンガポール・タイ

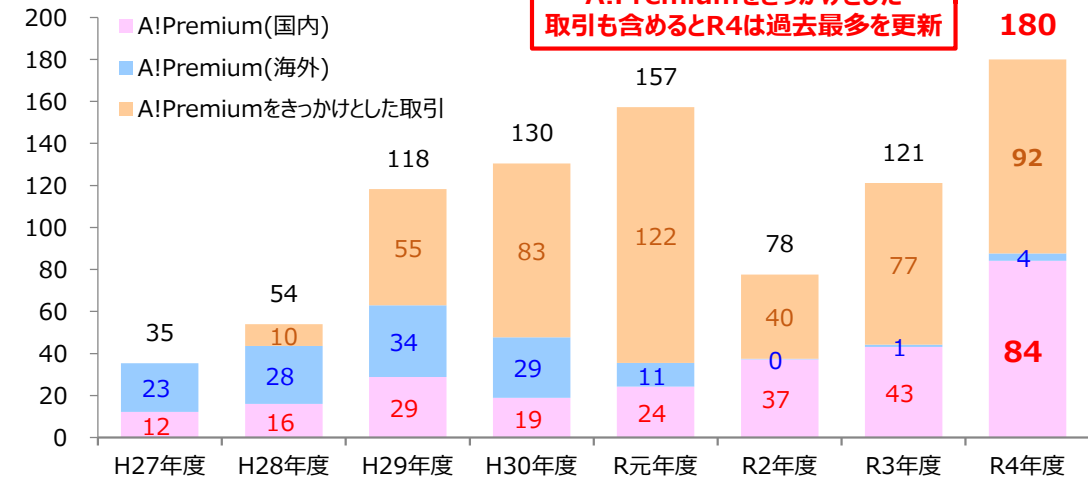


これまでのA!Premium

那覇空港

### 『A!Premium』取扱量の推移

(単位：百個)



国内は3年連続で過去最多を更新  
A!Premiumをきっかけとした取引も含めるとR4は過去最多を更新

出典：青森県総合流通プラットフォームA!Premium（令和4年度の取組実績）

### 上北自動車道を利用するA!Premiumの輸送ルート



冬期の道路条件悪化時は  
締め切り時間に間に合わないリスク

積載荷物の  
振動軽減

配送遅延の回避

荷痛みの回避

資料：物流業者ヒアリング結果をもとに作成

### 【青森県港湾空港課の声】

- ・上北自動車道の開通により上北方面から青森市の集荷場へのアクセスが向上した。
- ・R4年の青森空港を活用した海外輸送の開始は、これまでと比べて利用者（出荷者）の出荷時間が遅くなることから、今後の利用者の拡大につながるものと期待している。  
(R4.8、R5.10 ヒアリング結果)

### 【物流業者の声】

- ・三八上北地域からの集荷は全体の取扱量の増加に伴い堅調に推移している。
- ・集荷においては、上北自動車道が整備されたことで、配送遅延リスクの回避につながった。
- ・また、道路開通前はまれに荷崩れを起こすことがあったが、整備された道路を走行することで荷崩れがなくなり、安定走行が可能となった。

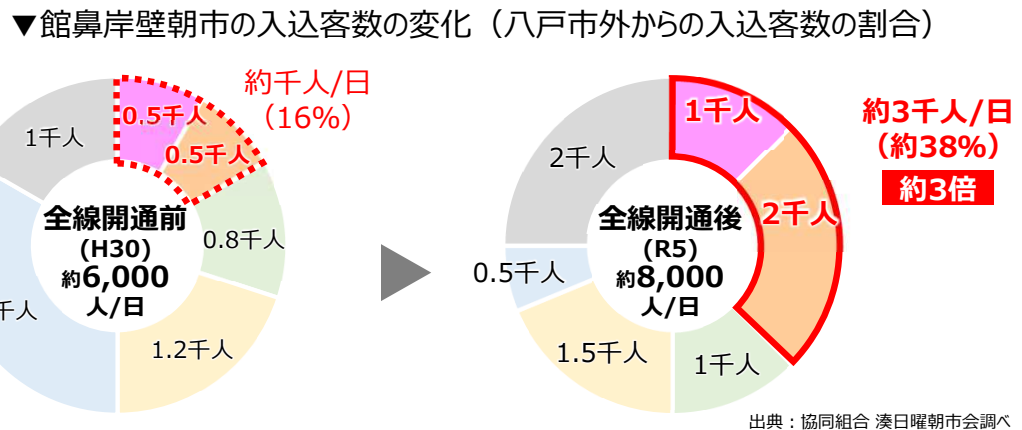
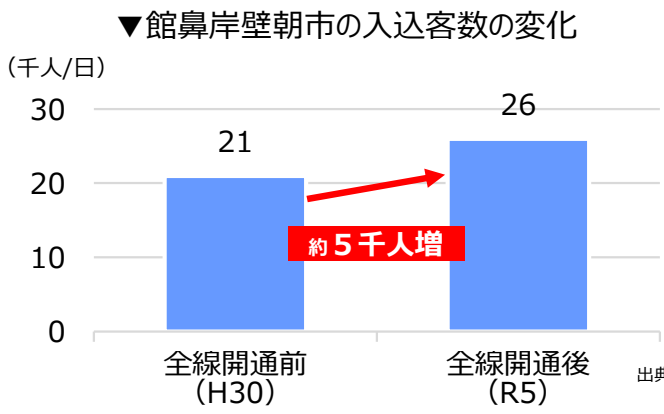
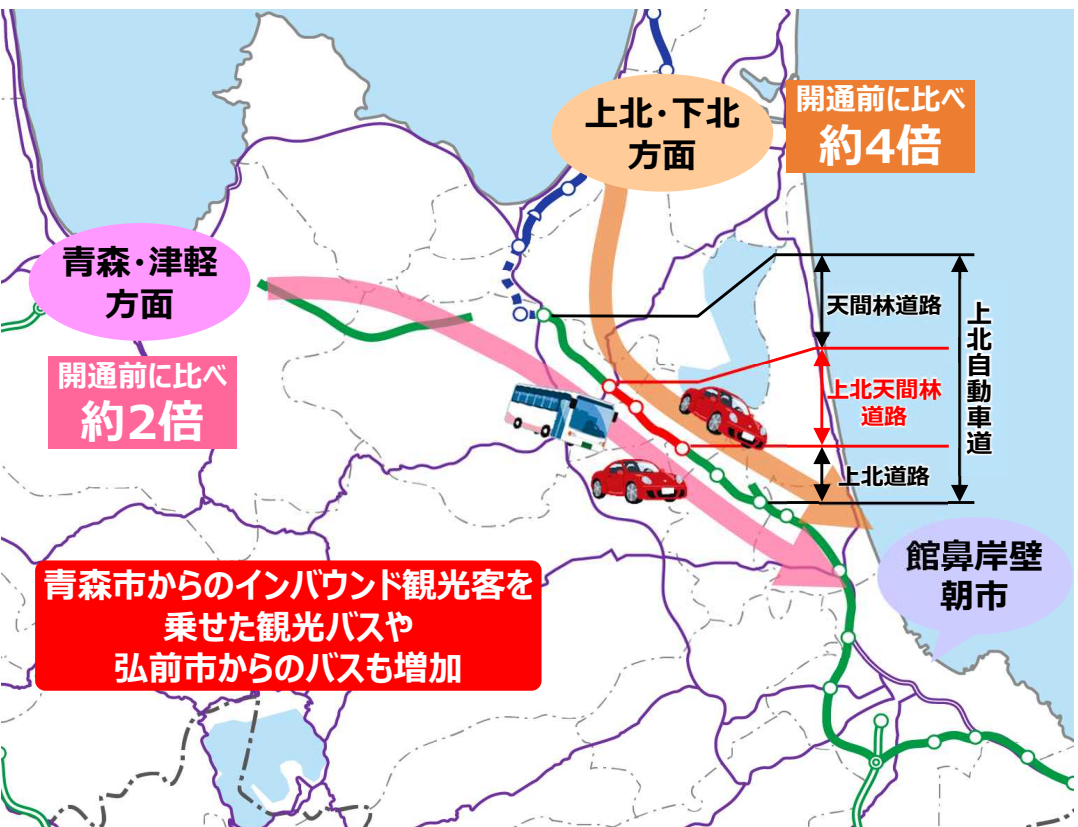
(R5.10 ヒアリング結果)

# 4. 事業効果の発現状況(4)観光・地域交流支援

事業完了後5年経過



- ◆八戸市の館鼻岸壁朝市は、日曜日朝に全長約800m、約300店が出店する国内でも最大級の朝市。
- ◆上北自動車道全線開通後では、来場者が約5,000人/日増加。
- ◆上北自動車道の開通により、青森・津軽方面や上北・下北方面からの来訪者も増加しており、国内最大級の朝市の活性化に寄与。



**■館鼻岸壁朝市**  
 3月中旬から12月までの毎週日曜日に行われる朝市。  
 約300軒を超える出店と人で漁港が埋め尽くされ、お祭り騒ぎのよう。  
 水産のまち・八戸らしく、新鮮な魚介や焼き魚はもちろん、格安の野菜、炊き込み御飯やうどんといった食事物から、靴や車などありとあらゆる物が揃う。  
 (青森観光情報サイトより)

**【館鼻岸壁朝市の声】**

- 来場者の来訪手段は、自動車による来場者7割、バス2割、電車1割。R5年は弘前市、青森市、秋田市からの観光バスが多くなった。
- 上北自動車道開通により所要時間が短くなったことで、青森方面からの出店者も増えており、出店者からは移動時間が早くなって楽になったと聞いている。また、青森空港からのインバウンド観光客を乗せた観光バスや青森や五所川原方面から車で来る一般のお客様も増えた。  
 (R5.12 ヒアリング結果)

# 4. 事業効果の発現状況(5)企業立地支援

事業完了後5年経過

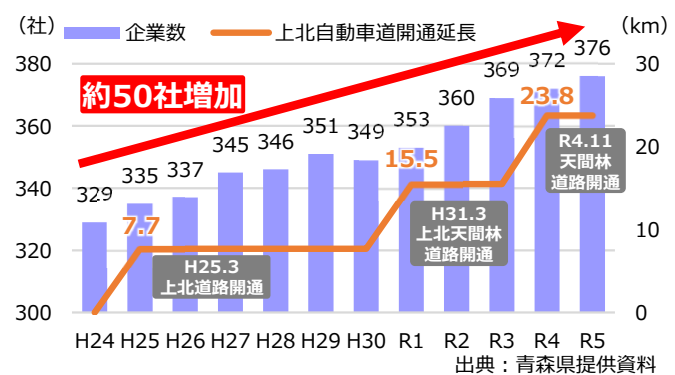
関連SDGs



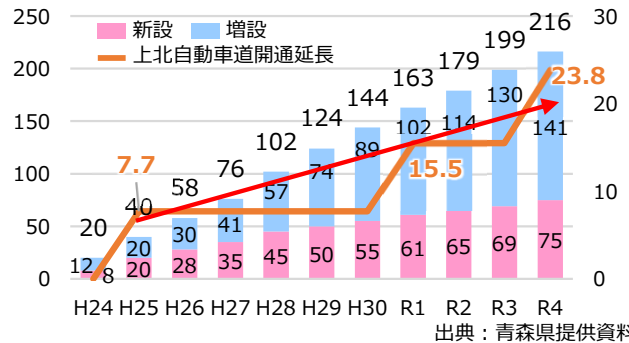
- ◆三八上北地域における工業団地の企業数は、上北自動車道の開通前に比べ約50社増加。
- ◆沿線地域では上北自動車道の開通に伴い、工場の新設や増設が進展。金矢工業団地では、H27に国内最大規模の木材加工工場が新設され、H31には新工場を増設。R4.11には運送業者が地域の特産品を運ぶ際の拠点として冷蔵倉庫を新設。
- ◆上北自動車道の整備などを背景とした企業立地が進展し、沿線企業の立地活性化に寄与。



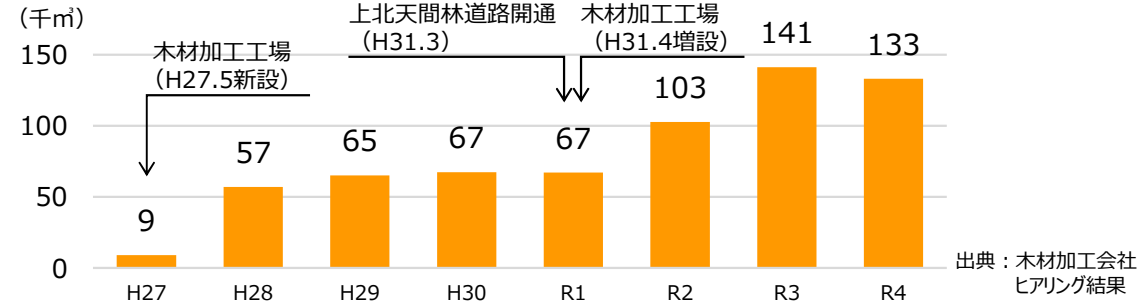
▼三八上北地域における工業団地の企業数推移



▼三八上北地域における企業の  
新設・増設の推移 (累計)



▼金矢工業団地内の木材加工会社の製品出荷量推移



**【木材加工会社の声】**

- ・金矢工業団地への立地は、上北自動車道への交通アクセスの良さも理由の1つとなっている。
- ・下北地域、東青・津軽地域から木材を搬入するほとんどのトラックは上北自動車道を利用。原木搬入、製品出荷の運行時間短縮や運転手の疲労軽減や荷崩れの不安解消が図られている。  
(R4.12、R5.10 ヒアリング結果)

**【青森県の声】**

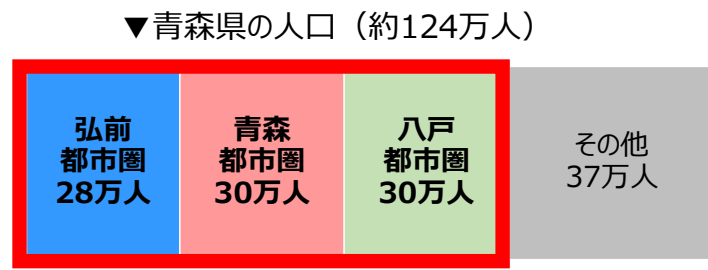
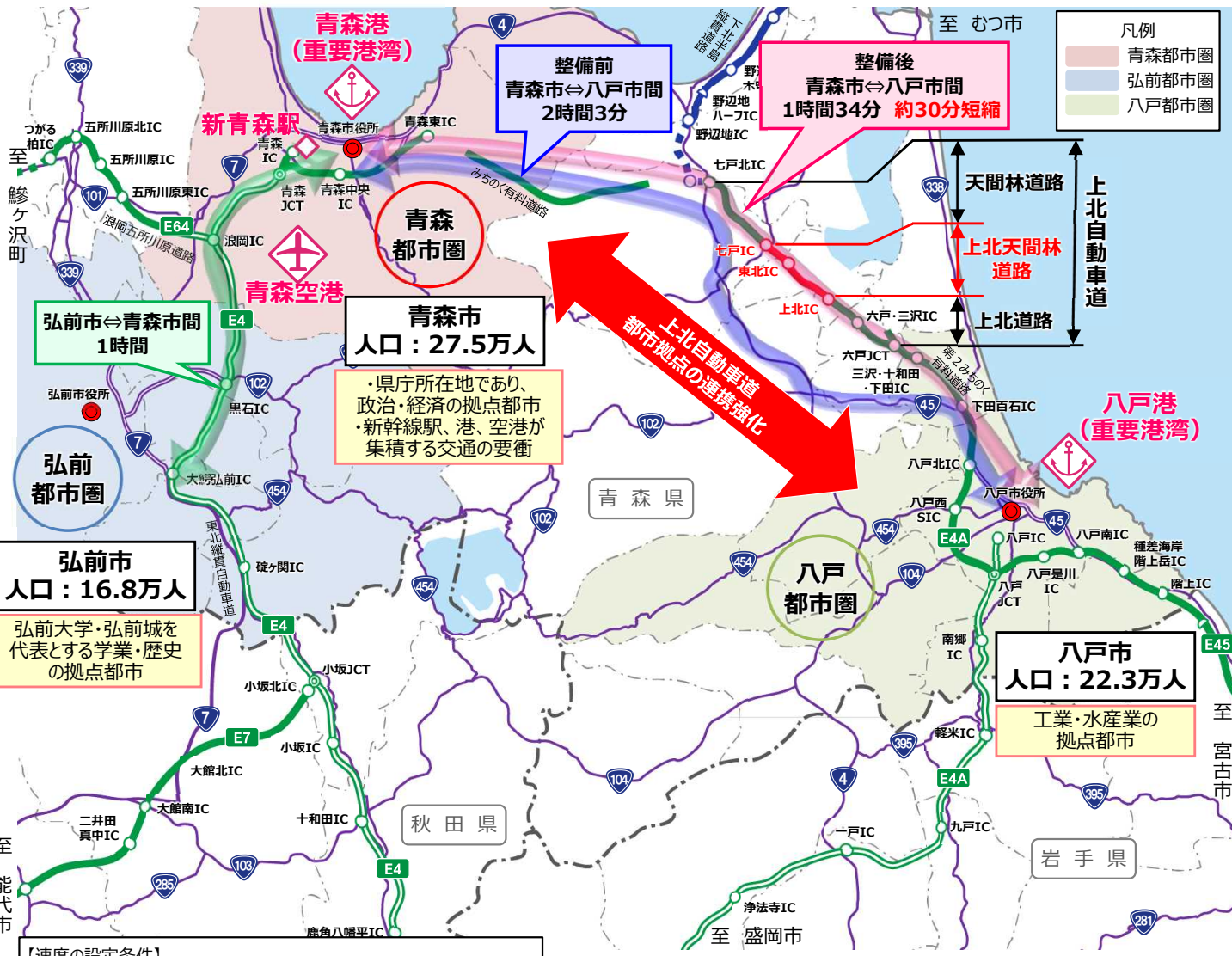
- ・沿線の金矢工業団地についてはR3年頃から問い合わせが増えており、上北自動車道の全線開通が影響しているものと考えられる。
- ・金矢工業団地の立地環境の説明に際しては、立地のメリットとして、六戸・三沢ICから車で2分とスムーズなアクセスができる旨をパンフレット等に掲載し、企業訪問等でPRしている。  
(R5.11 ヒアリング結果)

# 4. 事業効果の発現状況(6) 日常生活の利便性向上(地域間連携)

事業完了後5年経過

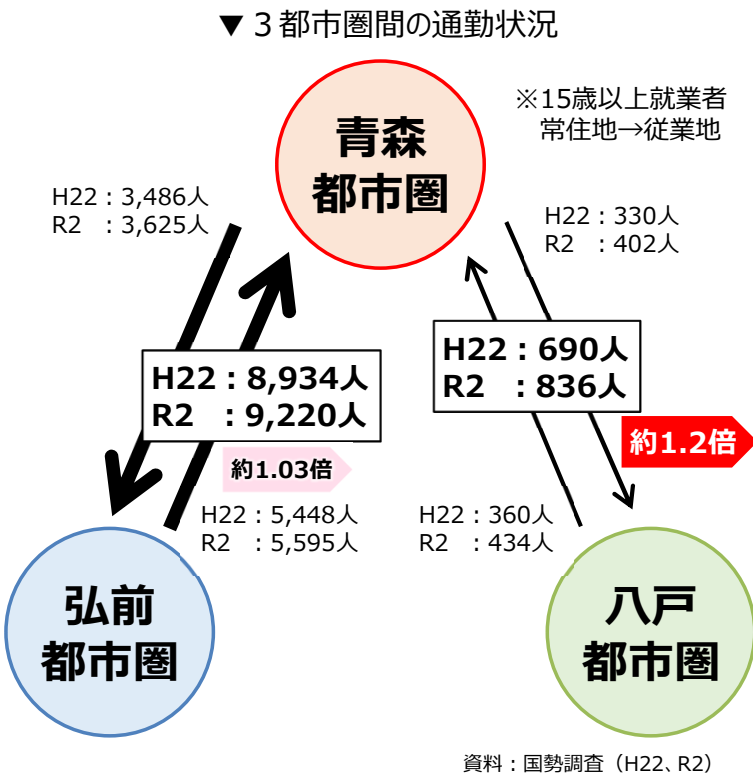
関連SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

- ◆青森市～八戸市間の所要時間は現道の国道4号、45号等経由で約2時間。
- ◆上北自動車道の整備により所要時間が約30分短縮され、県内主要都市間の連携が強化。
- ◆上北自動車道の整備前に比べ、青森～八戸都市圏間の流動は約1.2倍となっており、上北自動車道の整備が都市間の連携強化により地域間の交流人口の拡大を支援。



3都市圏に約7割が集中

資料：国勢調査（R2）



## 5. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

別添一覧表参照

## 6. 事業実施による環境の変化

評価対象区間については、工事の実施及び完成後も環境への影響は確認されていない。

## 7. 社会経済情勢の変化

○周辺道路の整備状況

令和3年12月 三陸沿岸道路 全線開通

令和4年 4月 一般国道4号（下北半島縦貫道路）野辺地七戸道路 新規事業化

一般県道 後平青森線 後平バイパス 新規事業化

令和4年11月 天間林道路開通（上北自動車道 全線開通）

## 8. 今後の事後評価及び改善措置の必要性

事業の目的に対する効果を概ね発現しているが、今後ネットワークとしての事後評価を実施し、改善措置の必要性等を検討する。

## 9. 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

当該事業の整備目的について効果発現を確認できており、事業評価手法の見直しの必要性はない。

なお、今後のネットワーク完成にあたり、今回同様ネットワーク全体での効果の検証に努める。